OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Gallia　57号　報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2018, 57, p. 138-140
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69860
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

報　　告

講義題目（2017 年度）

和田　章男　教　授（講）フランスの作家たちと音楽　（共通）
（講）名作でたどるフランス文学の歴史（山上教授と共同、学部）
（演）ジャン・コクトー『恐るべき子供たち』を読む　（学部・修士）
（演）プルースト『ソドムとゴモラ』研究　（大学院）

山上　浩嗣　教　授（演）ラシーヌ『アンドロマック』を読む　（学部・修士）
（講）パスカル『パンセ』を読む　（1 学期）（共通）
（演）モンテーニュ『エセー』を読む　（大学院）

Éric Avocat 特任准教授（演）Exercices pratiques de langue française　（学部）
（演）La chanson française : poésie, histoire, société　（1 学期）（学部・修士）
（演）L'écriture des journalistes : étude et pratique　（2 学期）（学部・修士）
（講）Initiation à l'écriture académique　（大学院）
（演）Introduction au romantisme français : poésie, théâtre, littérature, sensibilité　（大学院）

岩根　　久　教　授（講）フランス・ルネサンスにおける古典の受容と詩の実践
―プレイアード派を中心に―　（2 学期）（共通）

森本　淳生　講　師（講）レチフ・ド・ラ・ブルトンヌと〈近代文学〉の生成
―文学場・周縁性・両義性　（1 学期）（共通）

卒業論文（2016 年度）

フランス語における歯擦音の古フランス語期からの通時的研究
田　中　聖　人

ラディゲ『ドルジェル伯の舞踏会』における「田舎」の機能
堤　崎　　暁

『バジャゼ』における視線と令状―アミュラ帝の不在をめぐって―
角　田　郁　晃

ロマンティック・バレエ『ジゼル、又はウィリ達』における男性登場人物と男性観客の関係について
道　廣　千　世

修士論文（2016 年度）

La condition de la femme chez Mme de Staël, entre Rousseau et Mary Wollstonecraft

植　村　実　江

Métaphores et Métamorphoses de l'orgue chez Proust

森　　康　晃

日本フランス語フランス文学会研究発表

2017 年 6 月 3 日（土）・6 月 4 日（日）（全国春季大会、於東京大学）

・いま、パスカル・キニャールを読むこと―コレクション刊行をきっかけに（ワークショップ）

小　川　美登里

2017 年 10 月 28 日（土）・10 月 29 日（日）（全国秋季大会、於名古屋大学）

・ゾラ『クロードの告白』における「郊外」から「自然」への道
―ゴンクール兄弟『ジェルミニー・ラセルトゥー』書評を通して

安　達　孝　信

・マルロー『王道』における共同体

井　上　俊　博

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第 81 回研究会　2017 年 10 月 7 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

・スタール夫人における天才像

植　村　実　江

・カミュ後期の著作における植物の表象と「再生」のテーマ

安　藤　麻　貴

司会：高　岡　尚　子

・Entre libération du texte et uniformisation littéraire : le paradoxe de la littérature mondialisée chez Murakami Haruki

Benjamin Salagnon

司会：Christophe Garrabet

第 82 回研究会　2018 年 3 月 3 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

・レミ・ベローにおける牧歌の詩学―*La Bergerie*（1565）を中心に

林　千宏

・ドービニェとジャンル

濱田　明

司会：岩根　久

・フランス語使役文における被使役者名詞句の表現形式について

木内良行

司会：井元秀剛